

保護者等向け 児童発達支援評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	<input type="radio"/>				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	<input type="radio"/>				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	<input type="radio"/>				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	<input type="radio"/>				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				<input type="radio"/>	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	<input type="radio"/>				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	<input type="radio"/>				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか				<input type="radio"/>	その都度気になる点等はアドバイス頂いています
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	<input type="radio"/>				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	<input type="radio"/>				

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				○	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○				
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか				○	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				○	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	○				・月1回の利用なので回数を増やしたい ・とても楽しみにしています
	㉓	事業所の支援に満足しているか	○				・入れる回数が少ない ・もっと多くて頂きたい ・通いたくても通えない状況を改善して頂きたい

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....
(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業者職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		個室と療育室とで対応している
	②	職員の配置数は適切であるか	○		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・マット等の段差はあるが、児にあわせた環境に変更している ・視覚優位な児が多い為、スタッフルームや倉庫の扉に×印が書かれた紙が貼ってある
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		療育が終わるとマットやクッション、椅子や遊具を消毒している
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・結果の内容を来所した方にも見て頂く為、待合室の壁に貼っている。 ・ホームページに掲載している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価は実施していない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月1回全体勉強会や事業所内研修を実施
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		児の評価を適宜行い、計画書を作成している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		JSI-Rなどを使用している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインを読んだことがないので、スタッフがいつでも読める様に保管しておくべき
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画書に沿って療育内容を考えている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		同様に複数児が居る場合は、担当スタッフ間で集団遊びを立案している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		療育に出るスタッフ間で話し合っている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成しているか	○		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		担当する児にサブスタッフが付く際は、その児の特性やリスク管理について話している
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		適宜行っている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録の記載を行っている
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月/月のペースで計画書の作成を行っている

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②①	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		療育担当者が出席している
	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて行っている ・担当者会にて情報共有させてもらっている
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて行っている ・担当者会にて情報共有させてもらっている
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育後にフィードバックの時間を取っており、保護者様とコミュニケーションを取っている
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	必要に応じて実施
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学時や契約時に説明を行っている
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		計画書の書面に専門用語があれば、分かりやすい様に説明を行っている
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者様を対象に1回/年就学相談会を実施している
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		1回/月新聞を発行している
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		カルテ庫に鍵をかけて保管している
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		防災マニュアルは作成しているが、保護者様には周知はできていない
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		災害用品の備蓄を行っている
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		毎年児童表を提出して頂き、何かあれば保護者様より話がある
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			食事の提供はおこなっていない為、指示書は頂いていない
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員に周知出来る様にファイリングして保管している
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修会を1回/年実施している
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束を行ったことはないが、その様な場合は、保護者様に説明、承諾を頂き計画書に記載する様にしている

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表: 令和6年1月20日

事業所名 発達支援ルームみふあそ 保護者等数 142 回収数 59 割合 41.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			・人数が居たとしてもしっかりスペースが確保されている ・他を知らないので分からない
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			色々な専門職が居て関わってよい
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	○			学校の課題等にむけて、家でも出来る事を教えてもらいたい
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	○			・毎回色々な活動があり楽しいんでいる ・様々な運動を取り入れ上手に子どもを遊ばせてくれる ・満足プログラムが工夫されていて子どもが楽しみにしている
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・経験がない ・日曜のみの利用なので分からない ・必要はない
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			運動しながら言語の相談もでき、嬉しい
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	○			いつかイベントに参加したい
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・満足しているので苦情がないため ・苦情が出る様な事がなかったので分からない
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○			いつも新聞が楽しみ。新しい先生の紹介も楽しみの一つ
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	○			
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○			最初にされていた
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		○		やっている事を知らないだけかも分からない
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	○			・人に慣れるまで時間が掛かる為、同じ先生で対応してもらい不安がない ・毎回楽しみにしている
	⑱	事業所の支援に満足しているか	○			・装具がついて色々訴えるが、色々な活動ができて満足している ・とても満足している ・もう少し頻度をあげたい

ⁱ 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ⁱⁱ 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和6年 1月20日

事業所名 発達支援ルームみふあそ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・療育室や個室を使用している ・療育室に人が多く居たら個室で活動することがある
	②	職員の配置数は適切であるか	○			出勤スタッフを平等に配置すべきだと感じる
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・HPにて公開している ・保護者の目に付きやすい待合室に結果を貼りだして公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施していない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・事業所内研修は月に一度開催している ・外部の研修も受講できる ・月に一度は会社全体での勉強会を実施している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様からの思い等を聴取し、計画書を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			JSI-Rを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			同時間帯の療育スタッフと集団活動について計画している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			療育に出るスタッフで話し合っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動が必要な児には実施している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・療育に出るスタッフで話し合っている ・担当する児にサブのスタッフが付く際は、その児の特性やリスク管理について話している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			必要に応じて行っている
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			療育後に記録の記載を行っている	
⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月/回計画書を作成している	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			療育担当者が出席している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		・不登校児の中には、その児の学校に療育の記録を送付し、学校の出席扱いにしている児がいる ・必要に応じておこなっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在重度の医療ケア児の来所はないが、今後検討していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		法人内の事業所とは行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			職員個人の判断で研修に参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・療育後にフィードバックの時間を取っており、保護者様とコミュニケーションをとっている ・個別支援計画書の聴取等で気になった点があったら、保護者様に詳しくお聞きし、児の現状を理解している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学时や契約時に行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設置しており、迅速に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月新聞を発行している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のかかるロッカーにて保管している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			防災マニュアルは作成している

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1回/年研修を実施している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束等が必要な児に対しては、保護者様に説明し計画書に記載する様にしている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/			食事の提供は行っていない為、医師からの指示所は頂いていない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			いつでも確認出来る様にファイリングして保管している